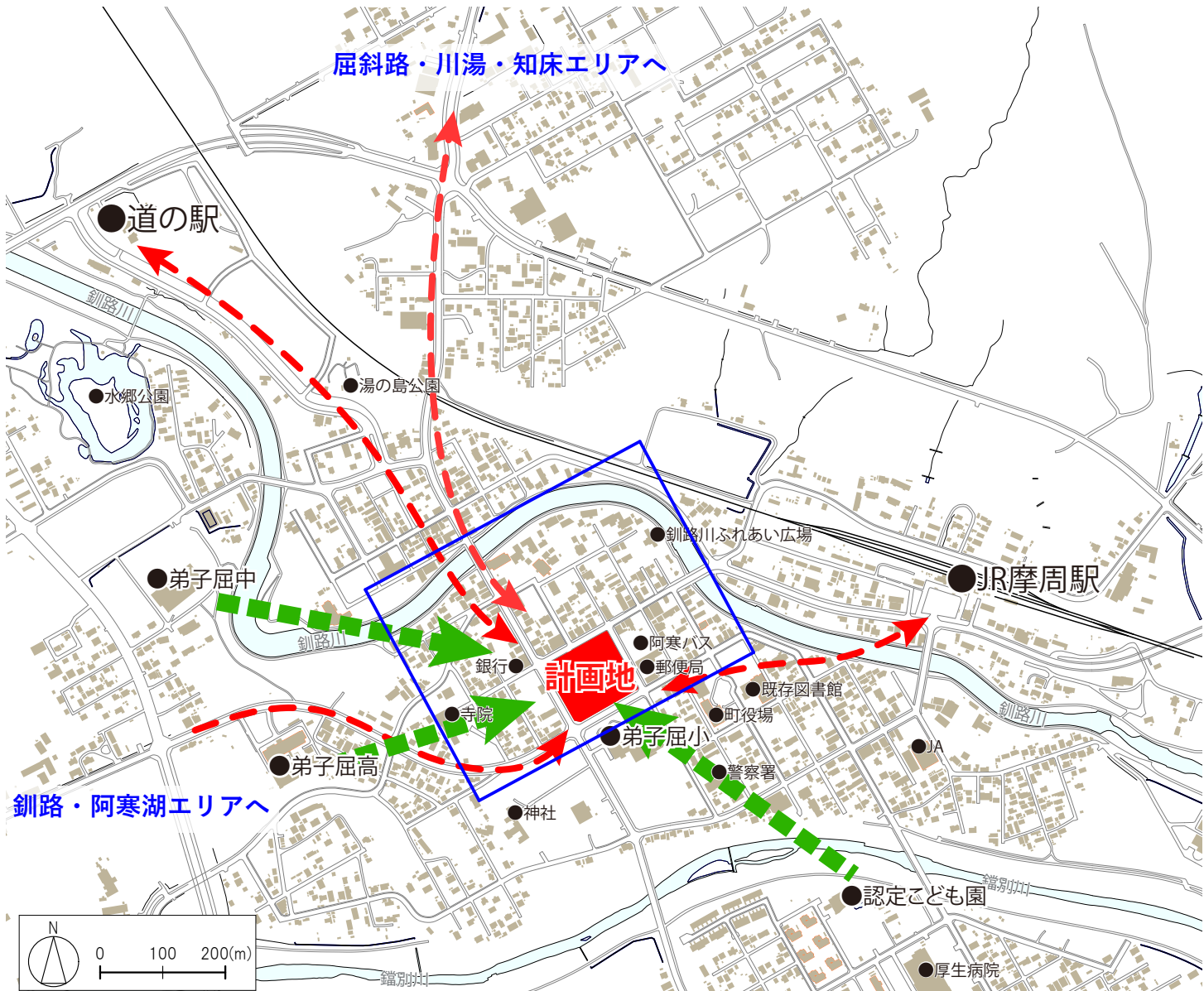
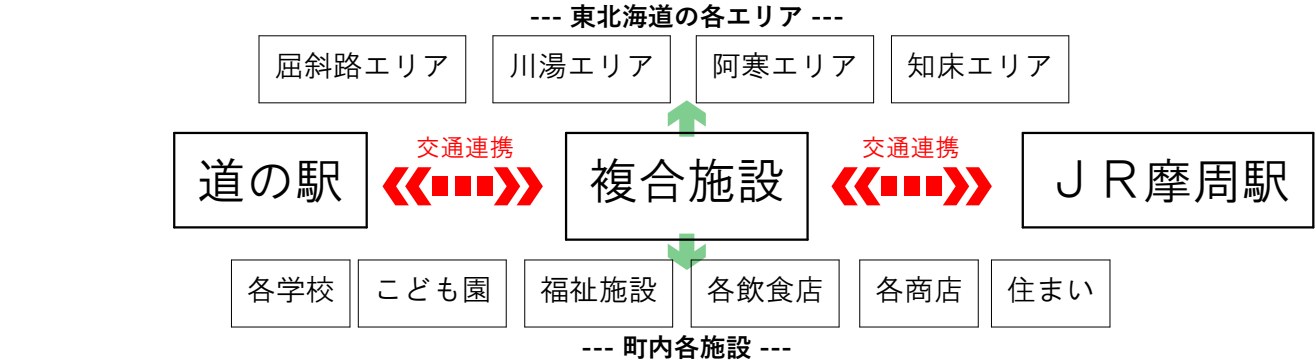
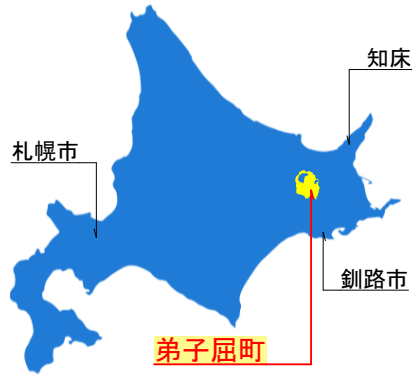


A-4 エリア全体計画

(1) 弟子屈町について

弟子屈町は東北北海道の中心に位置し最寄りには3つの空港があり、それぞれ車で1時間半圏内の位置にあります。また、網走、知床、阿寒湖、釧路、根室など道東観光地の中間地点であり、交通の要所であることや川湯温泉地区等の再開発も行われており、今後もより一層、地域観光の拠点となりうる町です。

計画地を中心に学生や子育て世代、高齢者の方など様々な利用者が歩いて気軽に通うことができる居場所としての機能が求められます。新施設を中心に回遊性の向上や賑わいづくりが可能となりウォーカブル（居心地が良く歩きたくなるよう）なエリアづくりに寄与する拠点として整備後も周辺の施設や飲食店、関係団体と相互連携を図っていきます。



(2) これからの中心市街地について

- 1) 中心市街地の核となる交流拠点としてまちに開く
- 町内のイベント時には中央地区の商店街や旧旅館街を軸として夏祭りや神社祭、音楽フェスなどが開催されており、これから一部廃屋となっているホテル等を解体し、新たなにぎわい拠点を目指した計画がまちづくり会社である株式会社テシカガタウンラボを中心に構想・施策が始まっています。これからの数年でまちが変わる大きな核として複合施設を計画しました。複合施設の配棟計画では中央地区に対しての施設の開き方の検討を重ね、屋内外の機能と空間が繋がりを待ちのにぎわいづくりに寄与する計画としています。
- 2) 複合施設とまちを繋ぐ コラーレ広場
- 計画敷地は「コラーレ広場」と呼ばれ、お祭りなどのイベント会場として、長年まちの方々に親しまれてきました。コラーレ広場の持つまちの賑わいの拠点と商店街通りとの関係は変えることなく、敷地内の高低差を活かした意匠としながらも、日常的にもまちの方々が集い、楽しみ、利用しやすい空間としています。

■建築計画概要

主要用途	： 図書館・温浴施設・水泳場・事務所
構造/基礎	： 鉄骨造 一部 鉄筋コンクリート造 / 鋼製杭 又は 柱状改良
建築面積	： 4,046.19 ㎡（バイナリー発電設備除く）
延床面積	： 3,689.64 ㎡（屋内部分）
付帯設備	： バイナリー発電設備（令和6年度稼働開始予定）

